

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		総合福祉センター維持管理事業				②事業番号		4504	
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		平成 26 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		法令	○ 条例	○ 規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市総合福祉センター条例 他	
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	3	項	1	目	6	細目	4・5
⑨担当部名		健康福祉部		⑩担当課名		長寿社会推進課		会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 泉南市総合福祉センター		① 施設数		施設
②		②		
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
総合福祉センターの維持管理を行うため修繕の必要な個所の修繕を図り、利用者の安全及びサービスの向上を図る。		① 総合福祉センター修繕箇所		ヶ所
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
総合福祉センターの維持管理を適切に行い、利用者の安全の確保及びサービスの向上を図る。		① 総合福祉センター修繕料		円
		計算式		
		② 計算式		
		③ 計算式		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
利用人数の増加により、より魅力ある施設運営につながる。		政策(章) 2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
		施策大(節) 3 みんなで支えあう福祉のまちをめざします		
		施策中 1 地域福祉の推進		
		施策小 1 地域福祉活動の推進		

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	施設数	施設	1	1	1	1	1	
対象指標②								
活動指標①	総合福祉センター修繕箇所	ヶ所	1	1	4	3	—	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	総合福祉センター修繕料	円	2,107	1,327	1,387	2,000	—	
成果指標②								
成果指標③								事業費などの推移における 特殊要因などの説明 R1 冷温水器修繕 (3,607千円)発生のため。 R3 空調機修繕予定。
事業費	投入人員	人	0.18	0.18	0.17	0.17		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,459	1,388	1,297	1,297		
	直接事業費	千円	2,107	4,974	3,899	15,244		
	総事業費	千円	3,566	6,362	5,196	16,541		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	9	126	270		
	一般財源	千円	3,566	6,353	5,070	16,271		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	総合福祉センター設置に伴う事業。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	総合福祉センター設置したことにより、耐用年数の経過とともに修繕箇所が増加しており、今後、老朽化に伴い増々修繕箇所が増えると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	公共施設等の最適化に向けて検討。

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ イ ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)	
＜今後の展開方針＞ a a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	建物の大規模改修及び設備の入替が必要。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	財源確保。